

家庭菜園、 取り組む施策は

答 医療費抑制の視点から
行う考えはない



大宜見 洋文 議員

問 家庭菜園を通して健康になる土いじりが注目されている。最近あったテレビ番組やインターネットも、ガーデセラピーという言葉が今注目を浴びていることを知っているか。

町長 土いじりに関するサイトを拝見した。書いてあったとおり効用がある内容で、家庭菜園の土いじりが健康づくりに役立つというものを否定するつもりはない。

問 学校や役場でも心身疲労で休職する職員が増えていく。校内や職場内菜園で土いじりの機会を作れないか。

町長 今のところ土いじりの機会を作る考えはない。

問 本町の財政状況、そして新たに建設を計画している町民体育館へこれから大きな支出が考えられる。どこで補うかと言え、やはり医療費を抑制する施策が大変重要じゃないかなと考える。

私も自然栽培農業を実践して、実際に健康を実感する。楽しく仕事をするためにも、こういう息抜きということも必要じゃないか。植物や緑の力を健康に生かすガーデセラピーが注目を集めていると新聞やネットでも多く取

り上げられている。肥料も農薬も除草剤も使わない自然栽培農業とガーデセラピーは、とても親和性が高いと考える。



ガーデセラピー、食べたスイカの種を撒いたら

自然や予防医学といった人の健康を扱う分野と統合、融合した環境健康学という学問があり、植物の療法的効果、医療福祉施設の緑化、緑地福祉、人と植物の関わりなどを研究するそうだ。

本町でもその分野の研究者とタイアップして、調査研究などできないか。例えば、産業医の先生とかに提案して、効果の実証実験をしてみるというのもいいと思うが、どうか。

町長 様々な施策はあるが、医療費適正化については、様々な方策等々、調査研究していく。